



発行所
カトリック福江教会
広報委員会
五島市末広町3-6
☎ 0959 (72) 3957
●ホームページ●
<http://fukuechurch.jimdo.com>

「桐ヶ丘抄」

協働司祭 葛島輝義



桐ヶ丘の墓地を上空から眺めると、福江の市街地のほぼ中央に位置して、天に向かって咲く花のように清楚な趣、神様のまなざしがその一点に注がれている感があります。人は歳を取ると、今というこの時を生きていることの凄まじさを、痛切な思いで味わうのかもしれない

です。今、桐ヶ丘の地に立つてみて改めてそう思います。天地の誕生、全ての命はその時から始まったと知るならば、今の自分の命に真っ直ぐに繋がる。その想像を絶する奇跡の連なりを、感動なしに思わないわけにはいきません。

一人の人間には両親がいる。両親が生まれるには、四人の両親がいる。三代で八人、四代で十六人：命の起源を遡ると二十代で一〇四万八五七六人になります。祖先のうちに、もし一人でも欠けていたら、今ここにおられる私たちそれぞれの命は、無であることです。

さて、この墓地に名を連ねている方々は、かつて福江の地に生き、同じ聖堂に集い、同じ祈りを唱え、同じ聖歌を歌い、同じ風に吹かれ、同じ海を眺め、同じ空を見上げ、私たちより少し早く天の国へ帰られた方々です。そして、私たちもこの地上を旅立つ日が来ます。確かに来ます。その日、全てを共にしたこの地が過越しの故郷と名を変えます。

一〇〇年後、二〇〇年後、この桐ヶ丘に立つ人たちは、どんなふうに目を凝らし、耳を澄ませるでしょうか。果たして、墓参り、墓地ミサの習慣が残っているでしょうか。その結末は、今の私たちの信仰のあり方と決して無関係ではないでしょう。日頃は無縁、ある時ひょっこり姿を現わし、自分たちの都合と条件に合わせ、教会が動くことを要求する傾向が今でもあるようです。

「わたしをお遣わしになった方の御心とは、わたしに与えてくださった一人一人も失わないで、終わりの日に復活させることである」(ヨハネ 6:37-40)。「終わりの日」という言い方は、福音記ヨハネにおいては、キリストを信じる人たちが単なる約束を与えられたのではなく、永遠の命を現在のものとして与えられていることを意味しています。世の終わりにキリストが再び来られる日に向けて、私たちがどのように生を営むべきか、この墓地に名を連ねている方々は無言にして大いなるメッセージを送っています。

教会の十一月は、今この世にはいない方々と、今この世に在る私たちが、全ての命を大切にしてくださいと神様によって繋がっているということとを思い出す季節、いわば「命を織り成す季節」です。

それぞれに今の歳を生きただけ、桐ヶ丘の墓地でのミサを通し、この自分の細胞の中に生きている先代・父母の血が伝わって来、先代・父母もこの自分の体の中でずっと一緒に生きて来たことに、深い感謝の意を込めて手を合わせたことでしょう。

強い北寄りの風にカリスやチボリウムが倒れるのではないかと気を張り、大声で式文を唱える。年輪としたミサは神様の豊かな恵みのうちに終了しました。今後、典礼の工夫を試みる必要があります。

晩秋の黄昏時、桐ヶ丘は無尽の光を浴びていました。二〇一四年の十一月が行き、私たちはまた信仰・人生の上着を重ねます。

牢屋の窄殉教祭

十月二十六日(日) 浜脇教会で牢屋の窄殉教祭ミサが行われた。

早朝から降り始めた雨の影響で、急遽場所の変更となった。下五島の各教会から船に乗って信徒が集まった。



教会には、他にも巡礼団が訪れて百五十名ほどの人であふれるほどだった。

ミサは、下五島地区の司祭と巡礼団を案内した下窄神父様の共同司式で行われ、その中で水ノ浦教会の鳥瀬神父様が百四十七年前の、牢屋の窄での殉教の様子を話され、「殉教者は、証人です。命をかけて信仰の証をした殉教者と同じように、私達もキリストの証人として信仰を守っていきましょう。」と今の時代の中で信仰を守ることの難しさ、大切さを話された。

先祖が命をかけて、伝えた信仰を受け継ぐために年に一度、この場に集まり共に祈ることで、思いを新たに出来るのではないだろうか。

共同墓地清掃・御ミサ

十一月三日(月) 桐ヶ丘共同墓地 清掃・御ミサが行われた。

予定時刻の二時前から熱心に清掃する姿が見られ、参加人数は少なかったが皆協力して墓石磨きや草むしり、樹木の剪定が進められた。



セメントの割れ目や防草処理がしてある街路樹の植え込みなどにも、ど根性な草が茂りほんの僅かな土に力強く根を張っていたのが印象的だった。我々も草に負けず、先人たちが眠る墓地をいつまでも綺麗に保てるように次回は多くの皆様の参加をお願いしたい。

北風が強くなってきたこともあり、早めに清掃を切り上げて御ミサが執り行われた。葛島神父様は、先祖への感謝の大切さを説き墓参りの重要性を話された。



下五島地区 親善大運動会!!



開会式

去る十一月十六日(日) 午前十時より福江丸木緑地公園グラウンドにて下五島地区親善大運動会が執り行われた。四年に一回開かれる本行事であるが、前回、前々回と雨のため中止となっていたため、実に十二年ぶりの開催となった。当日は好天に恵まれ、朝早くから開会に向けて準備が進められた。

本村副議長による開会宣言の後、下口神父様による挨拶があり、競技開始となった。小中学生の徒競走に宝さがし、むかで競争、缶釣りゲームなど合計十四の競技に下五島地区の八つの地区の信徒やシスター、司祭団が参加し競い合った。福江小教会の信徒も多数参加し、子供も大人も懸命に走ったり、楽しく競技に取り組む姿が見られた。全競技中玉入れ、ゲートボールリレー、綱引きの競技は得点競技となり閉会式で結果発表があった。三位貝津、二位浦頭で、一位は浜脇教会であった。

福江教会は残念ながら入賞出来なかったが、普段見られない信徒の姿を見ることができ、笑いと歓声の尽きない運動会となった。閉会式で水の浦教会の鳥瀬神父様が「まだまだ下五島の教会も捨てたもんじゃな」と感じた。」との言葉が表したように、各教会の信徒が助け合って団結し、一つのことに取り組むすばらしさを感じ、他教会の皆さんとの交流という貴重な体験をする良い機会となった。

今回は四年後となるが、今回以上に多数の信徒の参加、特に高校生や青年、若い夫婦と子供達が多く参加してもらいたい。運動会の実行委員の皆さんをはじめ、準備や後片付けに参加した皆さん、競技で汗をかけた皆さん大変お疲れ様でした。



徒競走



ゲートボールリレー



玉入れ

おめでとう 初聖体!!

者、シスター、信者の皆さんへの感謝の言葉が述べられました。



十一月二三日(日) 初聖体式が葛島司祭のもと執り行われました。

例年七月に行われる初聖体式ですが、今年是小教区設立百周年記念行事の影響など、諸々の事情により十分な準備が整わないこともあり、十一月に行われる事となりました。初聖体を受ける十四名の子ども達にとっては少々長い「おあずけ」となりましたが、神様やマリア様のこと、御聖体についてより深く理解してこの日を迎えた事でしょう。

子ども達の代表より神父様へのお礼のことはとして、初聖体を受けた喜びと、これまで支えてくれた保護



神父様からは御自身の初聖体の頃の思い出を交えながら子ども達、保護者へのお祝いと「この中から一人ずつでも司祭やシスターを目指す子供がでてくれれば」と期待を込めた御言葉をいただきました。初聖体を受けた子供たち、保護者の皆さんおめでとうございます!

保護者代表感謝の言葉

本日は、初聖体式を行う事ができ子供達、保護者一同心から嬉しく思います。子供達は、教会学校に通い神様についてたくさん学びました。今日は、初めての御聖体をいただき神様のお恵みを受け止めていと思っています。これまでたくさんのお教えを導

いて下さった神父様。温かく、ひとつひとつ教えて下さったシスター方。心から感謝いたします。

子供達の初聖体式に、参列して下さった皆様方ありがとうございます。子供達がこれから教会の一員として成長できるように温かく見まもっていただきます。本日は、本当にありがとうございます。

保護者代表 青山真司



2014.5.4
2015.3.17

神様やイエスさまに喜んでいただくために頑張りたいこと!

- ★カロロ 佐輔 剣四郎
聖歌を頑張って歌いたいです
- ★スタニスラオ 濱崎 海心
お母さんの手伝いを頑張ります
- ★ペトロ 青山 隼乃丞
お祈りを頑張りたいです
- ★ヨゼフ 宮本 康生
お母さんのお手伝いを頑張りたいです
- ★マリア 熊川 千絵美
教会に頑張っていきたい
- ★マザーテレサ 柿山 綺奈
お祈りを頑張ります
- ★ビビアナ 松本 鈴
お祈りを頑張りたいです
- ★アガタ 小出 奏美
お友達と仲良くします
- ★マリア 中島 妃菜
お祈りとうたを頑張ります
- ★アグネス 小出 美莉亜
お風呂当番を頑張ります
- ★マリア 浦 陽和
教会のお勉強を頑張りたいです
- ★マリア 真鳥 陽菜子
妹と仲良くしたいです
- ★モニカ 小畑 萌心
お家のお手伝いを頑張ります
- ★マリア 野村 結依
お母さんのお手伝いを頑張ります

信徒が見守る中祭壇に立ち、一人ひとり元気よく発表しました。

保存版!

今すぐ役立つ

豆知識

その1
通夜・葬儀編

もしもあなたのご家族が
亡くなられた場合

【連絡手順】

- ① 最初に教会の神父様に連絡する。
福江教会 TEL 0959-72-3957
- ② 市内の葬儀社 (式典社 TEL 0959-74-5551 などがあります) に連絡する。
- ③ 葬儀社で通夜、葬儀告別式、火葬、納骨の日時、場所を決める。
※死者の霊名を確認しておいて下さい。
※信徒会館で通夜をすることが出来ます (電気代の実費程度の負担が必要)。
- ④ 日程が決まったら教会の神父様に連絡をする。
※信徒会館での通夜を希望する方は、この時に申し込んで下さい。
※司祭は火葬場へも同行します。
- ⑤ 神父様→中島一男経済問題評議員→浦国昭議長
中島さん→各地区の経済評議員 (通夜、葬儀のお世話) →各班長→班員
中島さん→各地区委員、典礼委員長 (通夜、葬儀ミサの典礼奉仕) →修道院 (通夜、葬儀ミサの準備、オルガン演奏など) →聖歌隊 (葬儀ミサの聖歌奉仕) へ連絡。

お知らせ



◆クリスマス店頭募金について
(下五島地区)

12月21日(日曜日) 募金活動を次の場所で行いますので、ご協力をお願いします。(夕方4時頃からになります)

バリエー・オサダ・シテイモール・ミドリ薬局の各店頭

※また、福江教会聖堂前での募金は、12月24日午後7時30分のごミサ前後に行いますので重ねてお願いし

◆初金曜日について

来年1月の初金曜日は1月2日となりますが、正月3が日になるため、翌週の9日に聖体賛美式を行います。

◆お願い

クリスマス馬小屋、イルミネーションの撤去について

1月11日(日曜日)午後1時より、馬小屋、イルミネーションの撤去を行います。毎年参加者が少なく、大変苦労していますので多くの方の参加をよろしく願います。

◆教会門扉について

教会にご用の方で、夜に帰る際は教会前の門扉を忘れずに閉めてお帰り下さい。

◆ごミサの予定

《主の降誕ミサ》

12月24日(水曜日) 午後7時30分

12月25日(木曜日) 午前6時

12月25日(木曜日) 午前9時

《年末ミサ》

12月31日(水曜日) 午後7時

《新年ミサ》

1月1日(木曜日) 午前9時

1月2日から通常通り 午前6時

編集後記

本年最後の「こころ」いかがでしたか。今年も福江小教会ではいろいろな出来事がありました。中でも一番に挙げられるのはやはり、小教会設立百周年事業になるでしょう。司祭館落成に百周年記念ミサ、祝賀会など様々な行事に微力ながら関わらる中で、共同体の価値について考えさせられました。昔と比べ物質的には豊かになったものの、信徒相互のつながりが希薄になりつつある今の世の中を百年前の先人たちはどんな風に思っているのでしょうか。

来年は信徒発見百五十周年、教会シノドス閉会と長崎の教会にとって大きな節目を迎えることとなります。一方、長崎の教会群とキリスト教関連遺産のユネスコ文化遺産への推薦などもあり、カトリック教徒である私たちの周辺にも様々な変化が起こりそうです。私たちが、広報委員として何をできるかは分かりませんが、共同体の価値を感じられる記事の一つでも多く残せていけたらと思っています。日増しに寒くなっています。体調など崩されず良いクリスマスとお正月を迎えられますように。(N.H)